

No.	提案者名	提案の名称	提案概略	提案の形態	行政課題の 名称	関係課	採否	補助決定額 (円)
1	伊達三日月街道活性化協議会	伊達三日月街道活性化事業	伊達家ゆかりの地域を結んだ“伊達三日月街道”を軸に、当該地域の小売り・サービス・体験の多様なお店・施設の情報発信及び地域内の唯一無二の宝の掘り起こし等を行い、新規客層の開拓や街道地域の活性化、交流人口増と知名度向上を図る。 (広幡・六郷地区の小売り・サービス・体験を生業にしたお店や施設、名所、旧跡、自然等も加え、地域の魅力をBRANDMAPとして作成し、割引サービスのような来場メリットも明記して地域全体の魅力を描き同地域への来訪客の呼び水とする)	市民発案型	—	地域振興課	採択	166,000
2	東町ポスト	「東町ポスト」プロジェクト ～空き家利活用による図書館型コミュニティの創出～	空き家となっている旧東町郵便局を、自主運営型の私設図書館「東町ポスト」にリノベーションし、空き家の利活用を実施することで、空き家問題の一つの解決策を提案する。 また、図書館機能の他、本を読んだり書いたりする楽しさ、本を通じた文化や芸術に触れる場を提供することで、まちのにぎわいづくりに寄与する。	行政課題型	まちなかの 賑わいづく り推進 空き家利活 用の推進	都市計画課	採択	500,000
3	公益財団法人 農村文化研究所	第33回農村文化ゼミナール開催	定期的に開催していた農村文化ゼミナールが、昨年コロナ禍により延期となったため、今年度はコロナ感染対策をとりながら「第33回農村文化ゼミナール」を米沢市の伝国の杜 大会議室において開催する。また同時にリモートゼミナールとして全国に配信し、当研究所に残る貴重な歴史文化財産の情報を広く紹介し、市民の関心や活動を促進する。 講師には、元神奈川大学教授で、国際日本学部 歴史民俗学科に所属、民俗学を研究分野としておられる佐野賢治氏および、山形大学 学術研究院 講師 阿部宇洋氏を招聘する。	行政課題型	文化財の保 存と活用	文化課	不採択	—
4	特定非営利活動法人 自然農食やまがた よもぎの会	居場所づくりプロジェクト	米沢市にも多くの老人クラブや団体等があり各種活動はしているものの、あくまでもその組織体内での活動がほとんどである。そこでまず、当法人が基本的に365日/年フリースペース『(仮称)勇ちゃんの居場所(米沢市大字下新田字平八1751)』を提供する。そこを中心として主に下新田近郊の高齢者、次に老人クラブや同等の団体等々的高齢者、最終的にはそれらに属していない高齢者が気軽に立ち寄る事ができるよう、各種活動や催し物を企画・実施する。また、隣で当法人が行っている有機野菜作りにも随時参加出来るようにする等、高齢者が自由に交流することで互いに啓発し合い、いきいきと暮らせるコミュニティを目指す。	行政課題型	高齢者がい きいきと暮 らすまちづ くりの推進	高齢福祉課	採択	474,000

No.	提案者名	提案の名称	提案概略	提案の形態	行政課題の 名称	関係課	採否	補助決定額 (円)
5	認定特定非営利活動法人 モルヒネ友の会	「モルヒネ治療・体験者の声」の発刊・頒布	本会の事業、「モルヒネ治療・体験者の声」の発刊・頒布は、任意団体の時からの事業である。慢性の痛み悩まされている患者自身が痛みの体験、モルヒネ服用までの経緯、モルヒネの効果と安全性などを綴り、専門医師がコメントを述べている。“痛みは取ることができます”を主題として年1回発行し、これまで多くの疾患・病態を取り上げてきた。会員に頒布する他、国会図書館、医科大学図書館、県内の図書館へ設置した。 今年度からは、米沢市民を対象に頒布を拡げ、米沢市民の健康と元気あるクオリティーオブライフ（生活の質）の向上に尽くしたい。	市民発案型	—	高齢福祉課	不採択	—
6	一般社団法人 支倉常長日西文化協会	日本・スペイン文化交流展 一歩く心の旅ー “世界遺産サンティアゴ巡礼の旅”写真展 & “私のスペイン写真コンテスト”	テーマ 一歩く心の旅ー 1.米沢の宝 日本初の外交官「支倉常長」 支倉常長は、伊達政宗の命を受けてスペインに出航した。スペインやイタリア、メキシコで常長の功績や認知度は高いが「生誕の地米沢」においてはまだまだ知られていないことを踏まえ、米沢の宝として国外の評価を市民と共有する事業を開催する。 2.苦難を乗り越える、生きるヒント 常長の生き様は、私たちに苦難を乗り越えるための生きるヒントを与えてくれるのではないだろうか。コロナ禍の現在、米沢が守ってきたサムライの精神文化を改めて域外に発信する機会とする。 3.経済の活性化 東日本大震災以降産業の疲弊が続いているが、入場者に1ドリンク券を配布して協力飲食店の賑わいを創出する。また、伝統工芸「米沢織 キモノ文化」も発信し、経済の活性化を掲げる。 4.次世代育成 支倉ジュニアクラブ員の協力を仰ぎ、国際感覚を養うと共に、オンライン交流によるICT技術の活用で国際交流を育む機会とする。	市民発案型	—	地域振興課	不採択	—
7	ざいご太郎塾開校プロジェクト	ざいご太郎塾「草木塔って知ってる？」 親子森の工作教室	昨年より米沢ブランド戦略事業として開催されてきたワークショップから生まれた、異業種によるチームである。「アイディア発表会」を経て、今後事業を実現化するために活動を始めている。 これまであまり紹介されてこなかった、また、地元の人にもあまり知られていなかった、歴史文化や生活の知恵などを、体験と健康増進型観光という新しい切り口で提案実行することにより、コロナ禍時代にも即した、魅力的で継続的な観光の振興と、人材育成や高齢者の活躍の場を作る。	行政課題型	地域資源を活用した観光の振興	観光課	採択	400,000
8	やまがた学生情報局	学生向けwebメディアでの米沢の魅力発信事業	米沢市にはさまざまな素敵な場所があるが、多くの大学生は知らずに米沢を去ってしまうという課題もある。そのことに寂しさを覚え、webメディアを開設した。 米沢市の大学生がより米沢のことを深く知るために、さまざまなスポットを取材し、webサイトを使って学生目線で紹介を行い、学生が地域に積極的に足を運ぶような地域づくりに貢献する。	行政課題型	市民と学生の交流推進	地域振興課	採択	400,000